

18  
ADULT  
ONLY

乳猫様  
行列の  
ごきげん



スーパー





予想外の罨や魔物に出くわして水や食料はおろか剣まで失ってしまった時の話だ



あれはあたしが一人で迷宮の探索をしていた頃



なんとか出られたか



ああ…



ここまでか



…まったく  
牙えない話だ…



いるとすれば  
野盗か狼…

こんな辺境の迷宮…  
そうその他の冒険者が  
通りがるはずもない



大丈夫  
お姉さん？



何か...食べ物  
を持ってないか？

え、お腹減っ  
てんの？



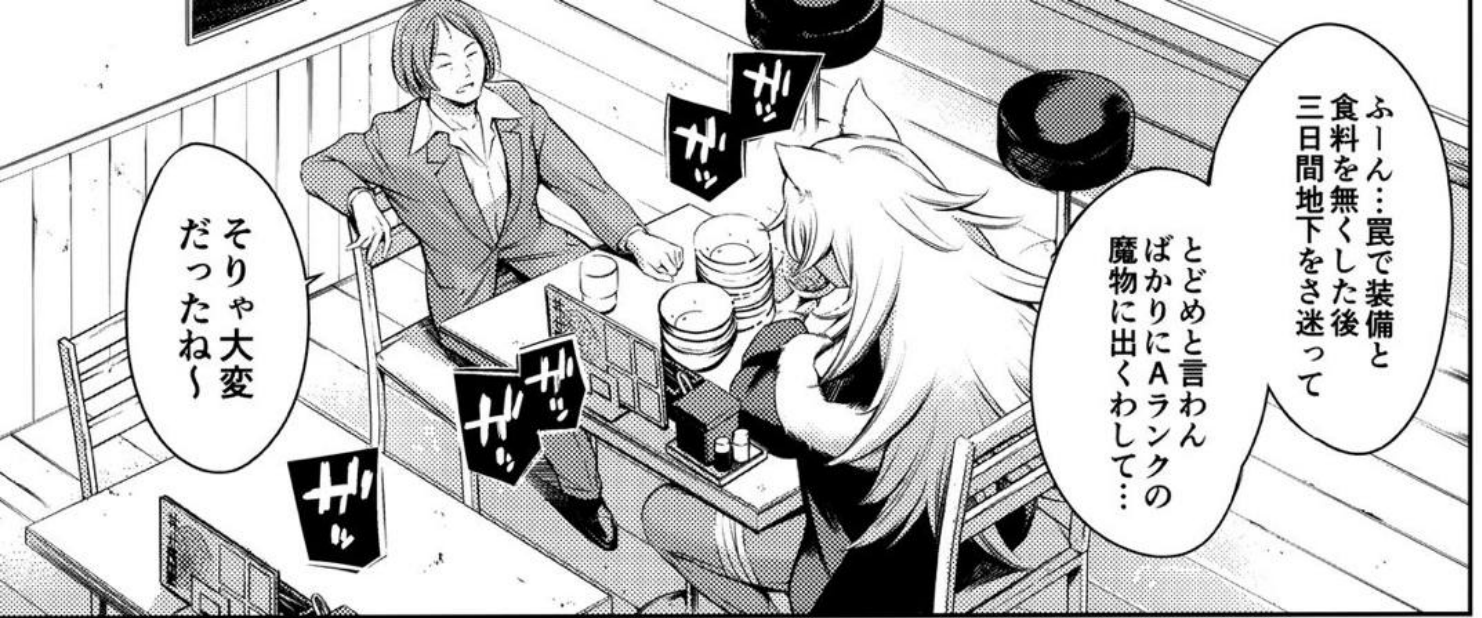
ママァ



じゃあそこの  
牛井屋まで  
歩ける？

牛井...？





ふーん：罫で装備と  
食料を無くした後  
三日間地下をさまって

とどめと言わん  
ばかりにAランクの  
魔物に出くわして…

そりや大変  
だったね



で、この後  
どうするの？  
お姉さん

そうだな

お待ち  
どうも  
すま



同じものを  
もう一杯くれ

そちらの券売機で  
食券をお求め  
ください

あー  
ハイハイッ！



とにかくはまず  
剣を手に入れ  
なくてはな

剣ねえ…



でも住む所  
なんかは？

しばらくは  
野宿だ

メシ食う金も  
無いんでしょ？

狩りで  
なんとかする

仕事

あるには  
あるんだけど  
さあ…





凄いコ連れて  
きたねキミ



こらあまた…



ドルデイ…って  
どこの国？

南米じゃ  
ないッスか？

たぶん  
この国か。



お名前は？

ごご出身は…

「大森林」の  
ドルディア族だ

ギレーヌ



まさかと思ったが  
やはりここは  
「娼館」か



ああ  
なるほど

まあウチとしては  
未成年でさえなければ  
多少の融通は…ネ  
とりあえず  
がんばってみて  
ください



まあ…この際  
仕方あるまい

右も左もわからぬ国で  
しかも剣を持ち歩く事が  
御法度とくれば

あーでも 入手しても  
剣は無理 持ち歩けないし

なっ…  
どんな国だ  
ここは!?

あたしに出来る事は  
おのずと限られて  
くるからな

…剣の  
いらん国か

世界は  
広いな

あっ  
ギレーヌさん?  
オレオレ

今日これから  
五人目の客だ

用がないなら  
切るぞ

五人って…  
タフだなあ

どう調子は?

「さん」はいらん  
ギレーヌでいい



路銀を稼ぐために  
体を売ったというのは  
この際置いておくと  
してだ

あたしの知る娼館とは  
ずいぶんと勝手の違う  
店だな

まあ：  
なんと  
いうか

とにかく  
奇妙な  
店だったな





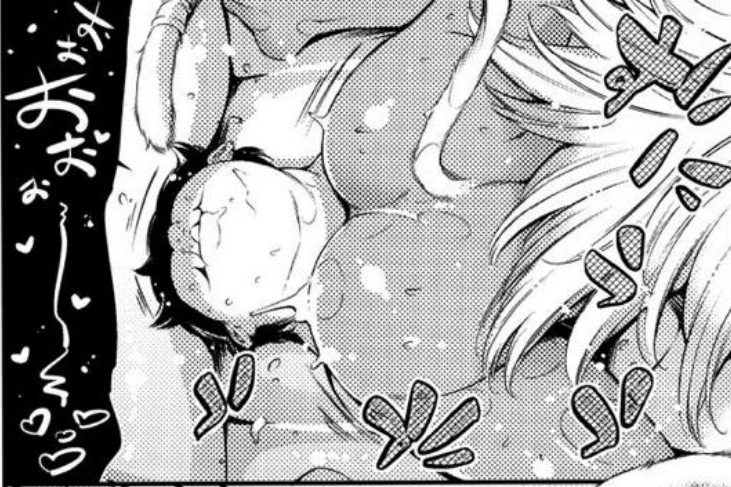
その…もったいぶった  
「まぐわい」をしたがる  
連中が言う「前戯」と  
いうやつ



お決まりの接吻や  
愛撫ならあたしにも  
わかるがそこから先が  
珍妙でな







たわけた話だが  
体中に薄めた粘液を  
塗りたくり乳や女陰を客の  
体に擦りつけるんだ

たしかか…  
「まっとぶれい」  
とか呼んでいたか







酒の酌をし股ぐらを  
開いていけば後は  
男が勝手に済まずと  
思っていたからな



正直：あたしは  
それまで娼婦という  
仕事を少し甘く見て  
いたかもしれん



しかしこれが見た目  
滑稽なわりにはえらく  
繊細な技術：いや

独特の「間合い」を  
必要としてな





「松葉崩し」に  
「金のシャチホコ」  
それと…すまん  
忘れた



とにかくあたしの一生で  
あれほど多くの「技」を  
会得したのは剣の修行を  
していた時以来だ



まあ今のを師匠が  
聞いたらさぞ嫌な  
顔をするだろうがな



優しくか…  
研修とやらでも  
言われたな

ナニに牙を立てた  
くらいでヒイヒイ  
泣くことも  
なからうに

とはいえ…  
やる事は  
やるわけだな

そういう意味では  
間違いなく「娼館」  
だったわけだが





...「ちゃん」?

ねえあの  
えーっと...  
お姉さん

ギレーヌ  
ちゃん?





「AF」…どうなっ  
てたのかな？

ほほらっ  
「アナル・  
ファック」

オプシオンで  
お願いしたん  
だけども…オ？

えーえふ？



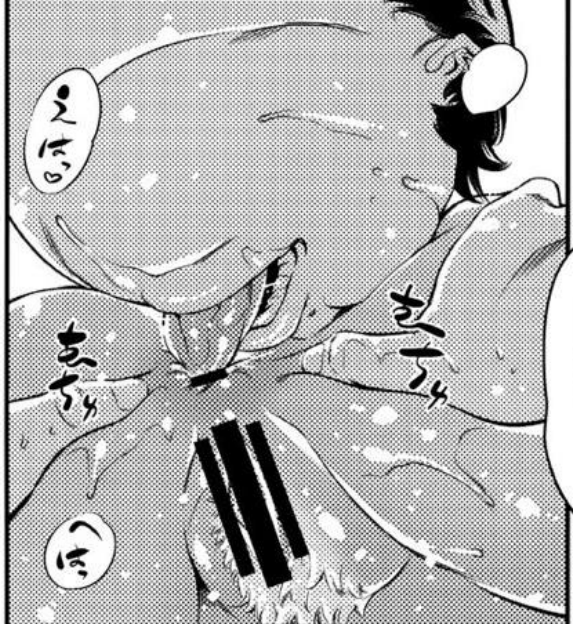
いや尻だな  
構わんぞ



「あなる」…ああ  
確か使用人が  
何か言っていたな  
パウロのヤツも  
やたら尻穴に  
ご執心だったが  
男という奴は…

あっあれ…  
もしかして話が  
通っていない？





ん：なんだ  
これは



不快：  
というほど  
ではないが

尻穴を執拗にねぶられる  
というのなんとも  
言えん感覚だな…







まったく…  
交尾をしながら  
ゴチャゴチャ  
うるさい奴だ



生アナルツ  
褐色猫耳ちゃんの  
生ハメアナルツ♡♡

オツ…ホツ…オ  
スゴオ…ツツ…  
オツ!





尻なんぞでまぐわいたがる連中の気が知れなかったがこれは確かに…

しかし…



まったくこのあたしが三食たらふく喰って挙句の果ては尻穴でナニをシゴく娼婦とは…

いやたらふく喰うのは別に悪くないとしても…ウツ







グッ...

クッ...  
クッ...

グッ...



まあ  
悪くはない



アナル  
ファックか...









にわかには  
信じられんかも  
しれんが

まさにその客の  
言う通りに  
なってるな

冗談のような話だが  
男どもがあたしを  
抱くために連日店に  
列をつくっていったんだ







それこそ飯を食う  
暇も無いほど朝から  
晩まで男どもと  
まぐわったな



ああ  
わかった

ギレーヌさん  
ご予約のお客様  
いらっしゃい  
ました

そうか：  
こんな事も  
あったな



晩飯はどう  
するかな…



一生分の発情期を  
合わせてもお釣りの  
来るぐらいナニを  
啜えたもんだ









ルーデウス？



ずいぶん調べたんだが  
未だにあれが何処の  
国かさえわからん

お前なら  
何かしら知って  
いると思っとな



どこからツッコミを  
入れるべきか非常に  
悩むところですが…

ウン？

と、とりあえず  
ですね



ソープのくだりを  
もっとなKWSK!!

ばん

なんの話!!

子供は聞いちゃ  
いけません!!



おまけ

そ、そうですが  
エリスこれは…

なによ！自分だって  
子供じゃない！！



無邪気に戯れる  
子供たちを  
眺めつつ

「ギガ盛り汁ダク  
バツファロー井」の味を  
心と舌で反芻する  
ギレーヌであった





発行日：2022年8月14日 発行元：マクロ☆フィクション  
著者：まぐろ帝國 印刷所：PICO(プリンティングイン株式会社)  
連絡先：tunateisyoku7360@gmail.com  
<http://www.pixiv.net/member.php?id=12752460>  
注意事項：禁十八歳未満 禁無断転載





Tuna Empire Presents

マグロ★フィクション  
MAGURO★FICTION